

国際スケート連盟コミュニケーション第 1760 号

シングル&ペア・スケートティング, アイス・ダンスおよびシンクロナイズド・スケートティング

国際ノービス競技会についてのガイドライン

(この ISU コミュニケーションは 1649 号と置き換える。変更点, 追加点には下線を付す。)

A. はじめに

ISU の義務と任務は, その傘下の多くの部門に対して, 高いレベルの演技を支援したり, 国際イベントを組織したり, そのスポーツの運営のみならず, そうした部門に対する将来性および発展性に関心を持つことにある。

よって ISU はその将来を明るいものにする為に, 若手選手向けに多くの支援的かつ建設的な方策で働きかけ, 更に革新的な組織を導入することが必要である。今日の ISU が有する恵まれた地位を保つためには, 明確な年齢に関する規定とともに, ノービス部門とそのレベルの構成, そして要求事項を支援する必要がある。

異なるノービスのレベル(ベーシック・ノービス, アドバンスト・ノービス)により, 主催者は, 全競技者向けに彼等のそれぞれの能力とその所持級に応じたイベントを, 同じように競える状態で開催できるようになる。エントリー種目は, エントリーしたメンバーの決定に従うべきである。ベーシック・ノービスのレベルは年齢範囲内のスケーター/カップル/チームが基礎的なスケートティング・スキルの一般的な要求を満たし, 競技の世界へのステップとなるように作られている。一方, アドバンスト・ノービスのレベルは, 次の段階であるジュニアで求められているものに近い, より発展的なスケートティングと演技の能力を備えたノービス年齢範囲内のスケーター/カップル/チーム向けに作られている。

主催者はイベントに含まれる種目およびサブグループを決定する。スケーター/チームを参加させるメンバー/クラブは, 所属選手が参加するサブグループを決定する。

特定の年齢(13歳以上)では, ノービス・スケーター/チームがジュニアの競技会/イベントに参加することができる。その逆も可能であるが, ジュニア選手の年齢はノービスの上限年齢内でないならない。年齢制限については一般規程第 108 条第 2 項 c)および d), 規程第 108 条第 3 項 b)および c)を参照のこと。

ISU はその専門知識をもってノービスやジュニア・カテゴリーにかかる年齢層を支援することをいとわない。以下の手順と情報に従い, ISU はフィギュア・スケートティング部門の更なる発展を確かにする行動を取る。

本コミュニケーションの目的は, 規程第 107 条第 10 項に該当するフィギュア・スケートティング部門の国際ノービス競技会を規定することである。また主催者が規程第 107 条第 14 項に該当するインタークラブ競技会に対しても, 本コミュニケーションに含まれる全般的および技術的要求事項を適用することが推奨される。

解釈や疑念などの問題の場合, ISU 評議会が最終決断を下す。

B. 全般

1. 参加申し込み

競技会への参加申し込みは、スケーターの年齢とレベルに基づき（国際競技会については）メンバーにより、（インタークラブ競技会については）地区/クラブによってなされる。地区/クラブはISU加盟メンバーのメンバーでなくてはならない。

2. 年齢要件（規程第108条第2項d）および第3項c）

国際ノービス競技会におけるノービス・スケーターとは、競技会に先立つ7月1日までに以下の要件を満たすものをいう（特定の日付：“7月1日まで”は、すべての指定された日付に適用される）：

- 少なくとも10歳に達しており
- 15歳には達していないこと

上記の年齢要件は2014年の6月30日まで有効である。2012年の第54回ISU総会で承諾されたノービス・カテゴリーの新しい年齢要件は、2014年7月1日より有効になる。（ISUのWebサイト(www.isu.org)のISU規程に掲載されている、一般規程第108条を参照のこと。）

2つのサブグループが異なるテクニカル・パッケージとして設置される。

- ベーシック・ノービス
- アドバンスト・ノービス

さらにシングル・スケートイングにおいては、年齢による2つのサブグループがベーシック・ノービスとして設置される。

ベーシック・ノービスA

- a) 少なくとも10歳に達しており
- b) シングル競技では、男子女子とも13歳に達していないこと

ベーシック・ノービスB

- a) 少なくとも13歳に達しており
- b) 男子女子とも15歳に達していないこと

ペア・スケートイング、アイス・ダンス、シンクロナイズド・スケートイングについては、ベーシック・ノービスにおいて年齢別のサブグループは設置されない。シンクロナイズド・スケートイングでは、ベーシック・ノービスにおいてチームあたりのスケーターの数を明確にするためにサブグループが使用される。全ての種目において、アドバンスト・ノービスでは年齢によるサブグループは設置されない。

3. 役員

- a) 役員パネルの構成については、役員の実務資格を除き ISU 規程第 420 条および第 720 条が適用される。各イベントでは少なくとも1名のジャッジと、テクニカル・パネルの少なくとも1名のメンバーは国際資格を有する者で構成しなければならない。
- b) 採点、レフェリー、テクニカル・パネルの役割に関しては、ジュニアおよびシニアの国際競技会と同様の ISU 規程が適用される。

c)レフェリー・レポートおよびテクニカル・コントローラー・レポートに関する規定は、規程第 433 条第 1 項、第 2 項、および第 816 条第 1 項、第 2 項が適用される。

C. シングル&ペア・スケーティング

1. シングルおよびペア・スケーティングのノービス競技会における全般的な要求事項

シングルおよびペア・スケーティングのノービス競技会で行なわれる競技部分：

a) シングル・スケーティング競技は以下の構成となる。

- * ベーシック・ノービス（年少）（グループ A） フリー・スケーティングのみ
- * ベーシック・ノービス（年長）（グループ B） フリー・スケーティングのみ
- * アドバンスト・ノービス ショート・プログラムおよびフリー・スケーティング

b) ペア・スケーティング競技は以下の構成となる

- * ベーシック・ノービス（1グループ） フリー・スケーティングのみ
- * アドバンスト・ノービス ショート・プログラムおよびフリー・スケーティング

c) 演技時間

シングル・スケーティング

ベーシック・ノービス（グループ A）	フリー・スケーティング	2分 30 秒 ± 10 秒
ベーシック・ノービス（グループ B）	フリー・スケーティング	3分 ± 10 秒
アドバンスト・ノービス	ショート・プログラム	2分 30 秒以内
	フリー・スケーティング（女子）	3分 ± 10 秒
	フリー・スケーティング（男子）	3分 30 秒 ± 10 秒

ペア・スケーティング

ベーシック・ノービス	フリー・スケーティング	3分 ± 10 秒
アドバンスト・ノービス	<u>ショート・プログラム</u>	<u>2分 30 秒以内</u>
	フリー・スケーティング	3分 30 秒 ± 10 秒

d) （シニアおよびジュニアとの）差異

シングル・スケーティング、ペア・スケーティングとも、ショート・プログラム/フリー・スケーティング・プログラムの後半部分に行われる要素に対するボーナスは無い。

2. ノービス競技会におけるシングル・スケーティングの技術的な要求事項

2.1 シングル・スケーティングのベーシック・ノービス A - 女子および男子（年少）

シングルのベーシック・ノービス A のバランスのとれたプログラムは以下を含まなければならない：

- a) 男女とも最大4つのジャンプ要素。内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスは2つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは2個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シーケンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい2個のジャンプのみがカウントされる。トリプル・ジャンプは許されない。
- b) 最大2つの異なる性質（略記号）のスピ要素。内1つはスピン・コンビネーションで足換えは任意（総回転数は最小6回転）、1つは単一姿勢のスピンで足換えは任意（総回転数は最小6回転）。フライングによる入りは許される。
- c)
 - i) 女子は最大1つのコレオグラフィック・シーケンスを含まなければならない。コレオグラフィック・シーケンスには少なくとも1つのスパイラル姿勢（少なくとも3秒間）を含むこと。シーケンスは固定された基礎点を持ち、GOEでのみ評価される。
 - ii) 男子は最大1つのステップ・シーケンスを含まなければならない。ステップ・シーケンスは固定された基礎点を持ち、GOEでのみ評価される。

プログラム・コンポーネントは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション

でのみ採点される。プログラム・コンポーネントの係数は2.5である。

レベルについての説明：

シングルベーシック・ノービスAでは、レベルの対象となる全ての要素は、レベル2までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

2.2 シングル・スケーティングのベーシック・ノービスB - 女子および男子（年長）

シングルベーシック・ノービスBのバランスのとれたプログラムは以下を含まなければならない：

- a) 女子は最大5つ、男子は最大6つのジャンプ要素。内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスは2つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは2個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シーケンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい2個のジャンプのみがカウントされる。
2回転半またはそれ以上の回転数のジャンプは、2種類のみをジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスの中で繰り返すことができる。
- b) 最大2つの異なる性質（略記号）のスピ要素。内1つはスピン・コンビネーションで足換えは任意（総回転数は最小10回転）、1つはフライング・スピンまたはフライング・エントランス・スピン（総回転数は最小6回転）でなければならない。
- c) 男女とも1つの氷上を一杯に使ったステップ・シーケンス。シーケンスはレベル特徴を得ることが出来、GOEでも評価される。

プログラム・コンポーネントは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ インタープリテーション

でのみ採点される。プログラム・コンポーネントの係数は以下とする。

- 男子 2.0
- 女子 1.7

レベルについての説明：

シングルベーシック・ノービス B では、レベルの対象となる全ての要素は、レベル 2までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

2.3 シングル・スケートティングのアドバンスト・ノービス - 女子および男子

男子

シングル男子のショート・プログラムは以下の要素からなる：

- a) アクセル・パウルゼンまたはダブル・アクセル・パウルゼン
- b) コネクティング・ステップから直ちに行なうダブルまたはトリプル・ジャンプ。a)のジャンプの繰り返しは禁止。
- c) 2つのジャンプから構成されるジャンプ・コンビネーションで、2つのダブル・ジャンプあるいは1つのダブル・ジャンプと1つのトリプル・ジャンプからなるもの。構成する両ジャンプとも a)または b)のジャンプの繰り返しは禁止。
- d) 足換えのキャメルまたはシット・スピン（最小 6 回転）。フライングからの入りは禁止。
- e) 足換え 1 回のみのスピン・コンビネーション（各足とも最小 5 回転）。フライングによる入りは許される。
- f) 1 つのステップ・シーケンスで氷面を一杯に使ったもの。

女子

シングル女子のショート・プログラムは以下の要素からなる：

- a) アクセル・パウルゼンまたはダブル・アクセル・パウルゼン
- b) コネクティング・ステップから直ちに行なうダブルまたはトリプル・ジャンプ。a)のジャンプの繰り返しは禁止。
- c) 2つのジャンプから構成されるジャンプ・コンビネーションで、2つのダブル・ジャンプあるいは1つのダブル・ジャンプと1つのトリプル・ジャンプからなるもの。構成する両ジャンプとも a)または b)のジャンプの繰り返しは禁止。
- d) レイバックまたはサイドウエイズ・リーニング・スピン（最小 6 回転）
- e) 足換え 1 回のみのスピン・コンビネーション（各足とも最小 5 回転）。フライングによる入りは許される。
- f) 1 つのステップ・シーケンスで氷面を一杯に使ったもの。

男子および女子

シングルのバランスのとれたフリー・スケートティング・プログラムは以下を含まなければならない：

- a) 女子は最大 6 つ、男子は最大 7 つのジャンプ要素。内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。ジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスは 2 つまで含んでよい。ジャンプ・コンビネーションは 2 個のジャンプのみを含むことができる。ジャンプ・シーケンスは構成するジャンプの数は自由であるが、最も難しい 2 つのジャンプのみがカウントされる。
2 回転半またはそれ以上の回転数のジャンプは、2 種類のみをジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスの中で繰り返すことが出来る。
- b) 最大 2 つの異なる性質（略記号）のスピン要素。内 1 つはスピン・コンビネーション（総回転数は最小 10 回転）、1 つはフライング・スピンまたはフライング・エントランス・スピン（総回転数は最小 6 回転）。
- c) 最大 1 つのステップ・シーケンス

レベルについての説明：

シングル・アドバンスト・ノービスでは、レベルの対象となる全ての要素は、レベル3までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

プログラム・コンポーネントは、

- ・ スケーティング・スキル
- ・ トランジション
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ インタープリテーション

でのみ採点される。

プログラム・コンポーネントの係数は

- a) ショート・プログラム
 - 男子 0.9
 - 女子 0.8
- b) フリー・スケーティング
 - 男子 1.8
 - 女子 1.6

3. ノービス競技会におけるペア・スケーティングの技術的な要求事項

3.1 ペア・スケーティングのベーシック・ノービス

ベーシック・ノービス競技会は、フリー・スケーティング・プログラムのみで構成される。

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは最大以下を含まなくてはならない：

- a) グループ1から2のうち異なる種類のリフト2回、片腕ホールドは許可されない（パートナーの支持している腕が完全に伸びることは要求されない）
- b) ツイスト・リフト1回（1回転）
- c) ソロ・ジャンプ1回（1回転または2回転）
- d) ソロ・スピン（足換え無し、姿勢変更は任意）（最小5回転）またはペア・スピン（最小5回転）
- e) 任意のピボット・フィギュア* 1回
- f) 1つのコレオグラフィック・シーケンス。少なくとも1つのスパイラル姿勢（少なくとも3秒間）を含むもの。シーケンスは一定の基礎点を与えられ、GOEでのみ評価される。

*もしデス・スパイラルが行われたならば、ISU 技術規程シングル&ペア・スケーティング 2012年版に従って採点される。デス・スパイラル以外の場合にはレベルがない。

レベルについての説明

ペア・スケーティングのベーシック・ノービスでは、レベルの対象となる全ての要素は、レベル2までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

プログラム・コンポーネントは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション

でのみ採点される。

プログラム・コンポーネントの係数は 2.0 である。

3.2 ペア・スケATINGのアドバンスト・ノービス

ペア・スケATINGのショート・プログラムは以下の要素からなる：

- グループ 1 から 4 のリフト 1 回，片腕ホールドは許可されない
- ツイスト・リフト 1 回（1 回転または 2 回転）
- ソロ・ジャンプ 1 回（1 回転または 2 回転）
- ソロ・スピンまたはソロ・スピン・コンビネーション 1 回（全体で最小 5 回転）
- デス・スパイラル 1 回または任意のピボット・フィギュア 1 回*
- 1 つのステップ・シーケンスで氷面を一杯に使ったもの

バランスのとれたフリー・スケATING・プログラムは最大，以下を含まなくてはならない：

- グループ 1 から 4 のうち異なる種類のリフト 2 回，片腕ホールドは許可されない（グループ 1 および 2 では，パートナーの支持している腕が完全に伸びることは要求されない）
- ツイスト・リフト 1 回（1 回転または 2 回転）
- スロウ・ジャンプ 1 回（1 回転または 2 回転）
- ソロ・ジャンプ 1 回（1 回転または 2 回転）
- ペア・スピンまたはペア・スピン・コンビネーション 1 回（全体で最小 5 回転）
- デス・スパイラル 1 回または任意のピボット・フィギュア 1 回*
- 1 つのコレオグラフィック・シーケンス。少なくとも 1 つのスパイラル姿勢（少なくとも 3 秒間）を含むもの。シーケンスは一定の基礎点を与えられ，GOE でのみ評価される。

*もしデス・スパイラルが行われたならば，ISU 技術規程シングル&ペア・スケATING 2012 年版に従って採点される。デス・スパイラル以外の場合にはレベルがない。

レベルについての説明

ペア・スケATINGのアドバンスト・ノービスでは，レベルの対象となる全ての要素は，レベル 3までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず，テクニカル・パネルからは無視される。

プログラム・コンポーネントは，

- ・ スケーティング・スキル
- ・ トランジション
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ インタープリテーション

でのみ採点される。

プログラム・コンポーネントの係数は

- ショート・プログラム 0.8
- フリー・スケATING 1.6

D. アイス・ダンス

1. アイス・ダンスのノービス競技会における全般的な要求事項

アイス・ダンスのノービス競技会で行なわれる競技部分

a) アイス・ダンス競技の構成

ベーシック・ノービス	2つのパターン・ダンスおよびフリー・ダンス
アドバンスト・ノービス	2つのパターン・ダンスおよびフリー・ダンス

b) フリー・ダンスの演技時間

ベーシック・ノービス	フリー・ダンス	2分30秒±10秒
アドバンスト・ノービス	フリー・ダンス	3分±10秒

2. アイス・ダンスのベーシック・ノービス競技会における技術的な要求事項

2.1 パターン・ダンス

規程第613条第1項：国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス課題はアイス・ダンス技術委員会からISUコミュニケーションによって毎年6月1日以前に発表され、発表の翌年の7月1日から発効する。

ベーシック・ノービスでは2つのパターン・ダンスが行なわれる。

グループ1：No.1 フォーティーンステップおよびNo.4 ヨーロピアン・ワルツ

グループ2：No.2 フォックストロットおよびNo.5 アメリカン・ワルツ

・シーズン 2012/13 および以降 2年ごとに：グループ2

・シーズン 2013/14 および以降 2年ごとに：グループ1

音楽要件：ISUコミュニケーション第1721号および本コミュニケーションの後に更新されるISUコミュニケーションに従う。

2.2 フリー・ダンス

規程第610条が適用される（「音楽はボーカルを含んでいてもよい」という記述を含む）。

バランスのとれたフリー・ダンス・プログラムは以下を含まなくてはならない。

a)

・以下の種類から選ぶショート・リフトを最大1つ

- ストレート・ライン・リフト
- カーブ・リフト
- ロータショナル・リフト

・コレオグラフィック・ダンス・リフトを最大1つ

（ISUコミュニケーション第1721号および本コミュニケーションの後に更新されるISUコミュニケーションを参照のこと。）

- b) ホールドを組んで行なうストレート・ライン・ステップ・シーケンスを1つ（ミッドラインまたはダイアゴナル）、またはホールドを組んで行なうカーブド・ステップ・シーケンスを1つ（サーキュラーまたはサーペンタイン）

ISU コミュニケーション第 1721 号に載っている制限事項および本コミュニケーションの後に更新される ISU コミュニケーションに従う。

- c) シンクロナイズド・ツイズル・セットを1つ

ダンス・スピンはベーシック・ノービスのフリー・ダンスの必須要素に含まれていない。ただし、カップルが同じ軸の周りを片足で（もしくは両足で）滑走するようなスピン動作を行うことはホールドと回転数の制限なく許される。カップルはこのような動作を振り付けの一部として用いてよい。テクニカル・パネルはこのような動作は無視し、ジャッジはこのような動作を許されたストップの数には入れないものとする。

レベルについての説明

ベーシック・ノービス・フリー・ダンスにおいて、全ての要素は、レベル2までのみ特徴が数えられる。いかなる追加の特徴もレベルの要求事項として数えられず、テクニカル・パネルからは無視される。

全てのプログラム・コンポーネントは以下の係数で採点される。

スケーティング・スキル	1.10
トランジション/繋ぎのフットワーク/動作	0.90
パフォーマンス/エクスキューション	0.90
構成/振付	0.90
インタープリテーション/タイミング	0.90

3. アイス・ダンスのアドバンスト・ノービス競技会における技術的な要求事項

3.1 パターン・ダンス

規程第 613 条第 1 項：国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス課題はアイス・ダンス技術委員会から ISU コミュニケーションによって毎年 6 月 1 日以前に発表され、発表の翌年の 7 月 1 日から発効する。

アドバンスト・ノービスでは2つのパターン・ダンスが行なわれる。

グループ 1：No.4 ヨーロピアン・ワルツおよび No.20 タンゴ

グループ 2：No.3 ロッカー・フォックストロットおよび No.9 スターライト・ワルツ

グループ 3：No.12 キリアンおよび No.23 ブルース

各シーズンごとに発表されている2つのグループの中から1つのグループが競技会の最初の練習の前に抽選される。

・シーズン 2012/13 および以降 3 年ごとに：グループ 2 およびグループ 3

・シーズン 2013/14 および以降 3 年ごとに：グループ 3 およびグループ 1

・シーズン 2014/15 および以降 3 年ごとに：グループ 1 およびグループ 2

音楽要件：ISU コミュニケーション第 1721 号および本コミュニケーションの後に更新される ISU コミュニケーションに従う。

3.2 フリー・ダンス

規程第 610 条が適用される（「音楽はボーカルを含んでいてもよい」という記述を含む）。

バランスのとれたフリー・ダンス・プログラムは以下を含まなくてはならない。

a)

・以下の種類から異なるショート・リフトを最大 2 つ

- ストレート・ライン・リフト
- カーブ・リフト
- ロータショナル・リフト

・コレオグラフィック・ダンス・リフトを最大 1 つ（ISU コミュニケーション第 1721 号および本コミュニケーションの後に更新される ISU コミュニケーションを参照のこと。）

b) スピンを最大 1 つ

注釈：コンビネーション・スピンは許されない。

c) ホールドを組んで行なうストレート・ライン・ステップ・シーケンスを 1 つ（ミッドラインまたはダイアゴナル）、またはホールドを組んで行なうカーブド・ステップ・シーケンスを 1 つ（サーキュラーまたはサーペンタイン）

ISU コミュニケーション第 1721 号に載っている制限事項および本コミュニケーションの後に更新される ISU コミュニケーションに従う。

d) シンクロナイズド・ツイズル・セットを 1 つ

レベルについての説明

レベルの対象となる全ての要素は、レベル 4 まで特徴が数えられる。

全てのプログラム・コンポーネントは以下の係数で採点される。

スケーティング・スキル	1.10
トランジション / 繋ぎのフットワーク / 動作	0.90
パフォーマンス / エクセキューション	0.90
構成 / 振付	0.90
インタープリテーション / タイミング	0.90

E. シンクロナイズド・スケーティング

1. ベーシック・ノービス競技会における技術的な要求事項

1.1 チーム構成

ベーシック・ノービス A

ベーシック・ノービス A は 12 名のスケーターと最大 4 名の交代要員で構成される。国内レベルでは、メンバーは異なるチーム構成を許可できる。

ベーシック・ノービス B

ベーシック・ノービス B は 16 名のスケーターと最大 4 名の交代要員で構成される。国内レベルでは、メンバーは異なるチーム構成を許可できる。

1.2 フリー・スケーティング

ベーシック・ノービス A, B の競技会はフリー・スケーティングのみで構成される。

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは以下の 6 つの必須要素を含まなくてはならない。

- a) 1 つのブロック
- b) 1 つのサークル
- c) 1 つのインターセクション (pi は数えられない)
- d) 1 つのライン
- e) 1 つのクリエイティブ・エレメント
- f) 1 つのホイール

最大の要素レベルを行うことができるが、与えられるレベルは、ISU が定める最大レベルより 1 つ低いレベルとなる。最大のレベル特徴を滑走してもよく、チームの出来栄として評価される。

他の要素もフリー・スケーティング・プログラムにつなぎの要素として組み入れることができ、ジャッジはインタープリテーションの評価に反映させることができる。コンテンツ・シート（予定要素表）では、どの余分な要素がつなぎの要素であるかを示す必要がある。

- 推奨される要素および特徴の定義 / 基準は規程第 903 条および第 911 条に従う。
- 要素の難度グループ、特徴および要求事項の説明は、有効な（対応する）ISU コミュニケーションに従う。

a) ホールド

最小 3 つの異なるとみなされるホールドが要求される。プログラムにおいて要求された数のホールドが無い場合にはレフェリーによって減点される。

b) 演技時間

演技時間は 3 分 ± 10 秒である。

計時はスケーターが動作（腕、頭、その他）を開始した時からプログラムの終わりに完全に静止する時までを計測する。

c) **音楽**

歌詞を伴うボーカル音楽は許可される。

d) **プログラム・コンポーネンツ**

プログラム・コンポーネンツは

- ・スケーティング・スキル
- ・パフォーマンス/エクセキューション
- ・インタープリテーション

でのみ採点される。

プログラム・コンポーネンツの係数は 1.7 である。

e) **違反要素および許可されていない要素や特徴，追加的な特徴**

違反要素および許可されていない要素は規程第 912 条第 9 項 b)，第 10 項 c)の制限に従う。

2. アドバンスト・ノービス競技会における技術的な要求事項

2.1 チーム構成

アドバンスト・ノービスは 16 名のスケーターと最大 4 名の交代要員で構成される。

2.2 フリー・スケーティング

アドバンスト・ノービスの競技会はフリー・スケーティングのみで構成される。

バランスのとれたフリー・スケーティング・プログラムは以下の 7 つの必須要素を含まなくてはならない。

- a) 1 つのブロック
- b) 1 つのサークル
- c) 1 つのインターセクション
- d) 1 つのライン
- e) 1 つのクリエイティブ・エレメント
- f) 1 つのホイール
- g) 1 つのステップ・シーケンス (CSS または BSS または NHE (ブロック形状))

最大の要素レベルを行うことができるが、与えられるレベルは、ISU が定める最大レベルより 1 つ低いレベルとなる。最大のレベル特徴を滑走してもよく、チームの出来栄として評価される。

他の要素もフリー・スケーティング・プログラムに組み入れることができ、コンポーネンツのトランジションおよび/または振り付けで採点される。プログラムのコンテンツ・シート(予定要素表)では、どの余分な要素がつなぎの要素であるかを示す必要がある。

- 推奨される要素および特徴の定義 / 基準は規程第 903 条および第 911 条に従う。
- 要素の難度グループ、特徴および要求事項の説明は、有効な(対応する)ISU コミュニケーションに従う。

a) **ホールド**

最小3つの異なるとみなされるホールドが要求される。もし、プログラムにおいて要求された数のホールドが無ければレフェリーによって減点される。

b) **演技時間**

演技時間は3分30秒±10秒である。

計時はスケーターが動作（腕，頭，その他）を開始した時からプログラムの終わりに完全に静止する時までを計測する。

c) **音楽**

歌詞付きのボーカル音楽は許可される。

d) **プログラム・コンポーネンツ**

プログラム・コンポーネンツは

- ・ スケーティング・スキル
- ・ パフォーマンス/エクセキューション
- ・ トランジション
- ・ インタープリテーション
- ・ 振付/構成

で採点される。

プログラム・コンポーネンツの係数は1.0である。

e) **違反要素および許可されていない要素や特徴，追加的な特徴**

違反要素および許可されていない要素は規程第912条第9項b)，第10項c)の制限に従う。

ミラノ

2012年9月13日

ローザンヌ

会長 Ottavio Cinquanta

専務理事 Fredi Schmid

日本語訳： 2012年10月26日 第1版